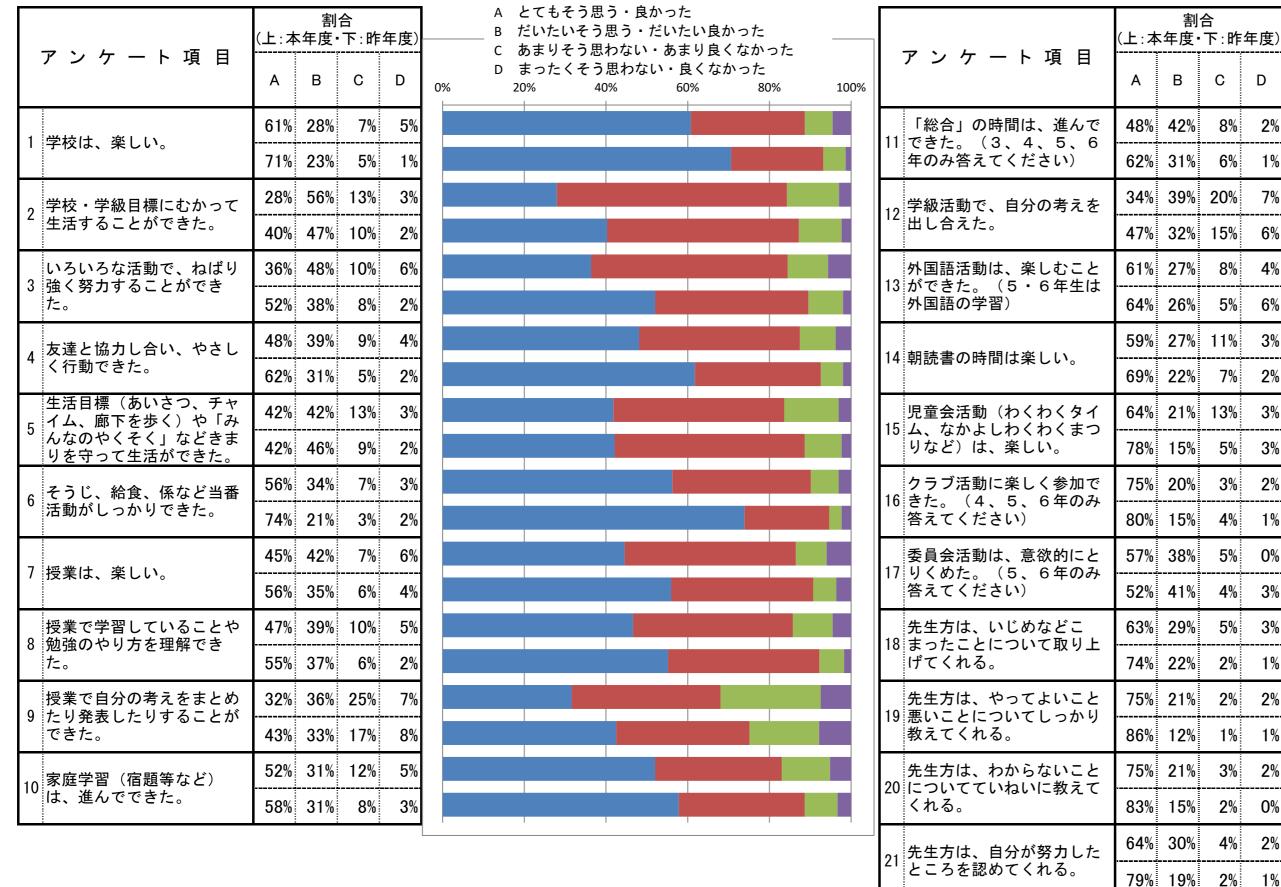
く児童アンケート集計結果>

(全児童数 本年度295人、昨年度316人)



A とてもそう思う・良かった

B だいたいそう思う・だいたい良かった

C あまりそう思わない・あまり良くなかった

D まったくそう思わない・良くなかった 100% 60%

《考察》

全体的に、アンケートに対する肯定的な回答が80%を超えており、本校の児童が前向きに学校生活を送っていることがうか がえる。学校の様々な活動や学習に対して、楽しいと感じ、努力している児童も多い。

しかし、学習内容の理解や勉強のやり方について、難しさを感じている児童も15%いることがわかった。また、授業や学級 活動で自分の考えを発表することに苦手意識を持っている児童も他の項目に比べて目立っている。この点については、わか りやすい授業をおこなっていくとともに、少人数で話し合いを持ったりペアになって意見を伝え合ったりする機会を多く持ち、自 分の考えに自信を持たせるような指導の工夫をしていきたい。

外国語については、90%近い児童が肯定的な回答をしている。本校では今年度から新指導要領の先行実施に取り組み、 |高学年は、毎時間ALTが入って担任とともに授業を行っている。中学年でも中学校の先生に入っていただくなど活動の工夫を| **|行ってきたため、外国語を楽しく学ぶことができている様子がうかがえる。**

児童会・クラブ・委員会等の特別活動については、概ね高評価となっている。本校の児童は、自主的な活動に楽しく意欲的 に取り組んでおり、肯定的にとらえている児童が多い。今後も、主体的に活動に取り組むことのできる児童を目指して指導を 続けていきたい。

教員の児童への指導や接し方についても、高評価となっている。しかし、不安を抱えている児童がいることがわかった。今後 もさらに、一人ひとりに寄り添い、丁寧な指導をしていくことを大切にしていきたい。

